

垣根のない、誰もが支え合える地域づくりを目指して。

鹿屋市地域づくりフォーラム



平成 29 年 1 月 15 日 (日)

13 時 20 分 ~ 16 時 30 分

鹿屋市文化会館

【主催】鹿屋市・公益財団法人さわやか福祉財団

【共催】鹿屋市社会福祉協議会・鹿屋市地域包括支援センター

【後援】鹿児島県大隅地域振興局・大隅地区介護事業所連絡協議会

会次第

13時20分 開会

主催者挨拶

鹿屋市長 中西 茂

13時25分 新しい総合事業及び生活支援コーディネーター紹介

鹿屋市高齢福祉課

課長 郷原 信一

13時40分 基調講演「支え合う地域をつくる」

公益財団法人さわやか福祉財団

会長 堀田 力

14時40分 休憩

14時50分 アトラクション

- ・ 鹿屋市少年少女合唱団
- ・ かんぱちダンス

15時05分 パネルディスカッション

【テーマ】 みんなで支え合い活動をひろげよう

【パネリスト】

- | | | | | |
|----------------------|----|----|----|---|
| ・ 元気でハッピーながのだ | 代表 | 上拂 | 辰雄 | 氏 |
| ・ 高隈地区コミュニティ協議会 福祉部会 | 会長 | 渡邊 | 正人 | 氏 |
| ・ NPO法人 隣の会 | 会長 | 齋藤 | 鈴子 | 氏 |
| ・ 鹿屋市第1層生活支援コーディネーター | | 小田 | 美桜 | |

【コーディネーター】

- | | | | |
|------------------|----|----|---|
| ・ 公益財団法人さわやか福祉財団 | 会長 | 堀田 | 力 |
|------------------|----|----|---|

16時25分 閉会

新しい総合事業・生活支援コーディネーター紹介

鹿屋市保健福祉部 高齢福祉課

課長 郷原 信一

平成29年4月から



新しい総合事業が始まります！

平成29年4月から、介護予防・日常生活支援総合事業（以下「新しい総合事業」といいます。）が始まります。

これまで、要支援者の方の訪問介護や通所介護のサービスは、全国一律の基準により提供してきましたが、新しい総合事業では、多様な生活支援のニーズに地域全体で応えていくため、これまでと同様のサービスに加え、多様な担い手による新しいサービスを提供します。

新しい総合事業では、要支援者の方や基本チェックリストに該当する方が利用できる「介護予防・生活支援サービス事業」と、65歳以上のすべての方が利用できる「一般介護予防事業」があり、市民の介護予防と日常生活の自立に向けた支援を行います。

介護予防・生活支援サービス事業とは？

要支援1・2の方と基本チェックリスト（日常生活や心身の状態を確認する25項目の質問等）で事業の対象者と判定された方が利用できます。

これまでのサービス

（全国一律のサービス）

介護予防
訪問介護
（ホームヘルプ）

介護予防
通所介護
（デイサービス）

介護予防・生活支援サービス事業

（鹿屋市のサービス）

【現行の介護予防訪問介護相当のサービス】
・既存の訪問介護事業所による身体介護や生活支援
※利用者負担はこれまでと同水準となります。

【高齢者自立生活支援事業】
・シルバー人材センターによる掃除・洗濯等の生活支援
※利用者負担は1回当たり200円となります。

【現行の介護予防通所介護相当のサービス】
・既存のデイサービスセンターでの機能訓練や入浴、食事の介護等
※利用者負担はこれまでと同水準となります。

【筋力向上トレーニング事業】
・デイサービスセンター等での機器を使用した筋力向上トレーニング
※利用者負担は1回当たり300円となります。

問合せ先

鹿屋市保健福祉部高齢福祉課 地域包括ケア推進室
TEL：0994-31-1175 FAX：0994-45-6884

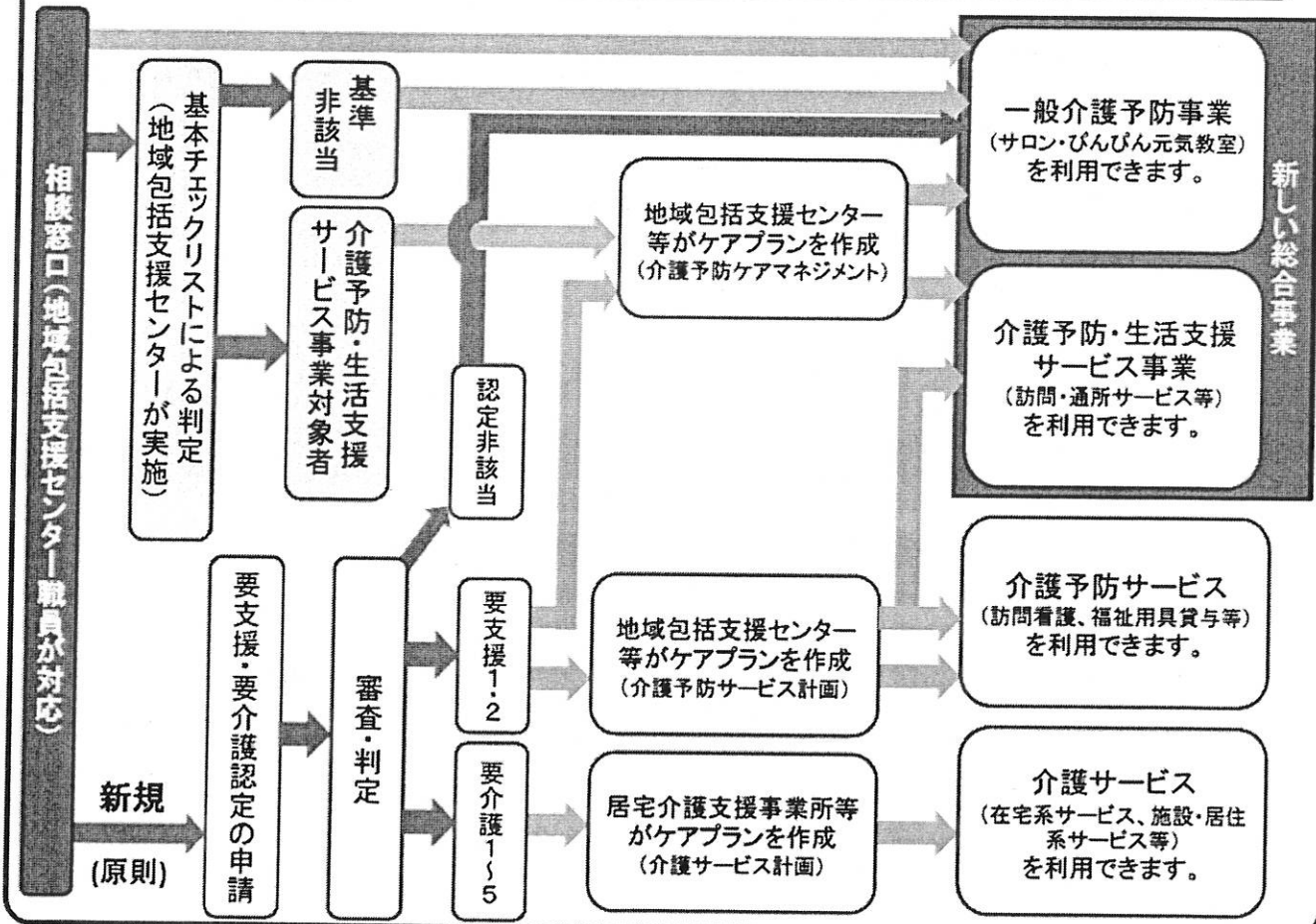
一般介護予防事業とは？

65歳以上のすべての方が利用できます。介護予防の知識を学び、地域の身近な場所で介護予防の活動を継続できるよう支援します。

地域サロン活動等推進事業	高齢者が身近な場所で集える場（サロン）の開催を支援します。
地域リハビリテーション支援事業	サロンやびんびん元気教室など地域活動に対してリハビリテーション専門職による支援を行います。
在宅福祉アドバイザー整備事業	ひとり暮らしなどの高齢者に対する声かけや安否確認等を行う在宅福祉アドバイザーを配置します。
高齢者元気度アップ・ポイント事業	高齢者が取り組む健康増進や介護予防、地域貢献等の活動に対してポイントを付与します。
びんびん元気教室事業	介護予防を目的とした体操や講話、レクリエーション等の教室を開催します。

上記のほかに保健師等が地域に出向いて介護予防の普及啓発等を行う事業もあります。

新しい総合事業の利用の流れ



鹿屋市生活支援コーディネーターのご紹介

生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)とは、地域の助け合い活動や、住民主体による生活支援サービス等を構築する推進役として、平成28年4月に配置されました。

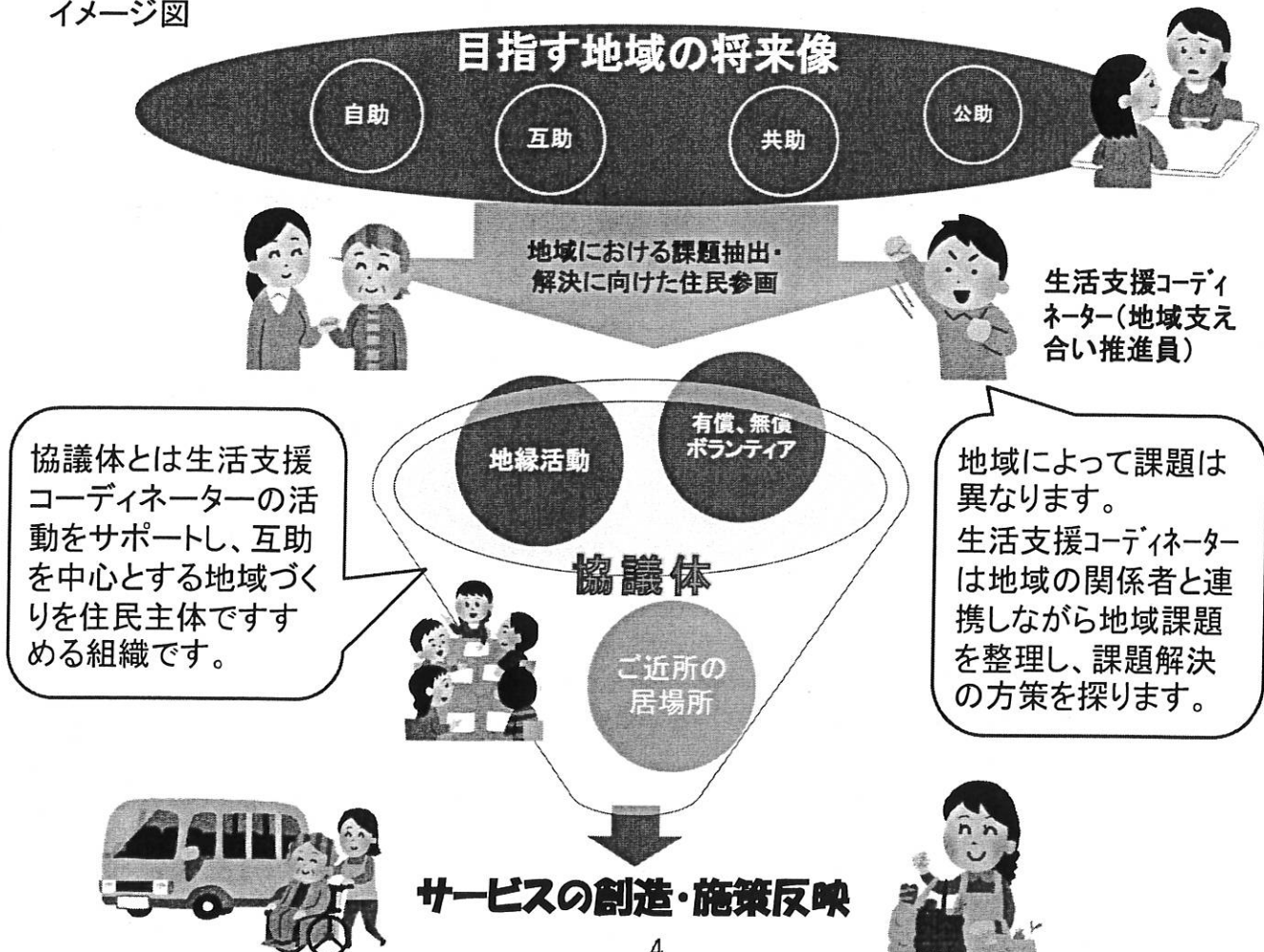
第1層 生活支援コーディネーター(市全域)

圏域	所属	氏名	電話・FAX
市内全域	鹿屋市社会福祉協議会	小田 美桜	TEL:44-2277, FAX:44-7757

第2層 生活支援コーディネーター(日常生活圏域)

日常生活圏域	サブセンター名	氏名	電話・FAX
高隈・鹿屋中学校区	下祓川サブセンター 鹿屋長寿園	川内 みより	TEL:40-8333, FAX:40-8335
鹿屋東中学校区	寿8丁目サブセンター ヴィラかのや	川崎 麻美	TEL:40-3751, FAX:40-3761
	寿2丁目サブセンター 朋愛園	西間庭 勉	TEL:41-2431, FAX:41-3341
第一鹿屋・花岡中学校区	大浦サブセンター 悠々	西北 昭盛	TEL:40-9855, FAX:40-9866
	花岡サブセンター 花岡の里	松元 勝治 安楽 由佳	TEL:46-5151, TEL:46-5101
田崎・大始良・旧高須中学校区	大始良サブセンター 慈恵園	野間口 貴博	TEL:48-2800, FAX:48-2852
輝北地区	輝北サブセンター みどりの園	野村 幸史	TEL:099-485-1185 FAX:099-485-1195
串良地区	串良サブセンター 以和貴苑	深水 真紀	TEL:62-8871, FAX:62-8872
吾平地区	吾平サブセンター 陵幸園	瀬戸口 賢	TEL:58-5900, FAX:58-5901

イメージ図



基調講演

「みんなで支え合う地域をつくる」

公益財団法人 さわやか福祉財団

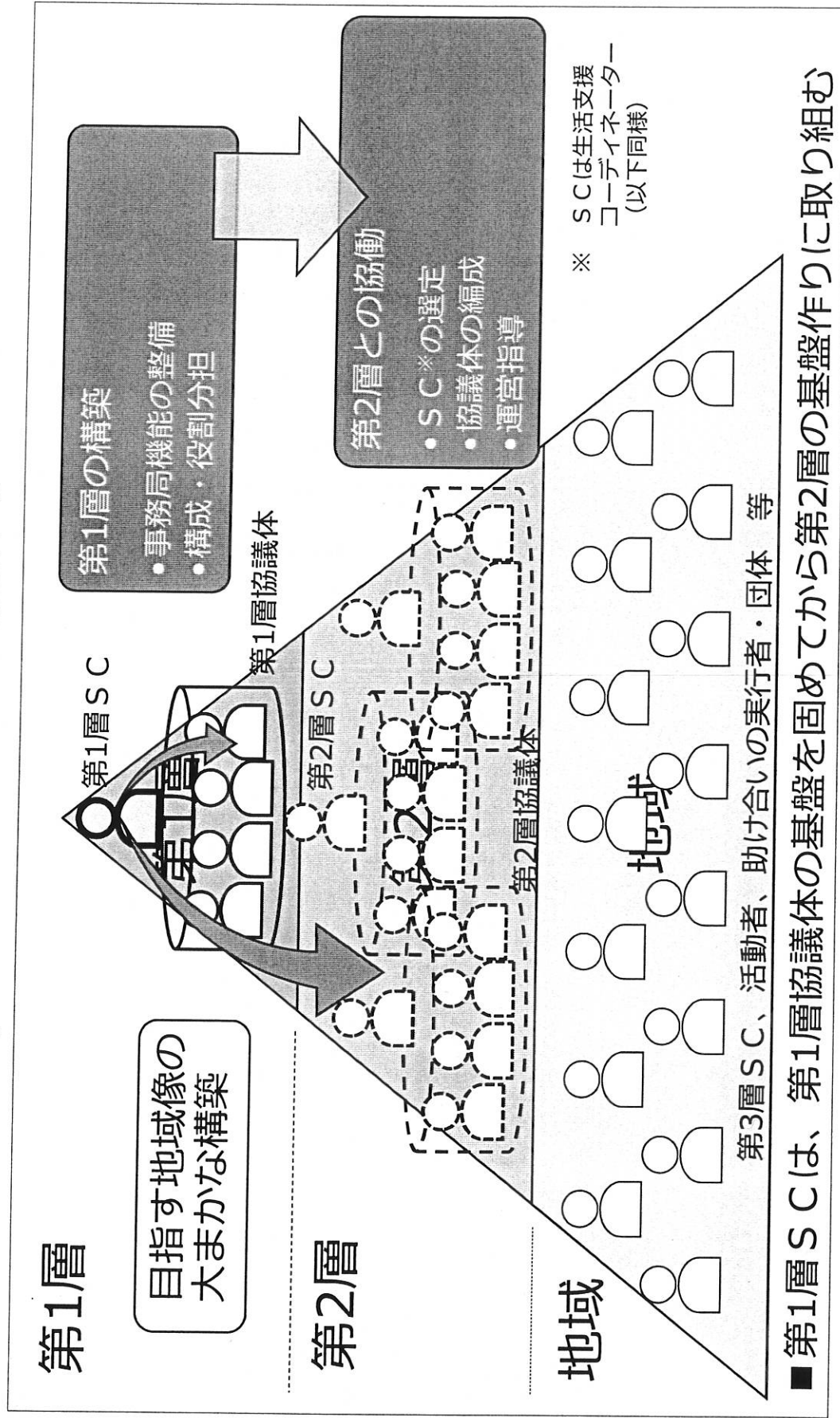
会長 堀田 力

支え合う地域をつくる

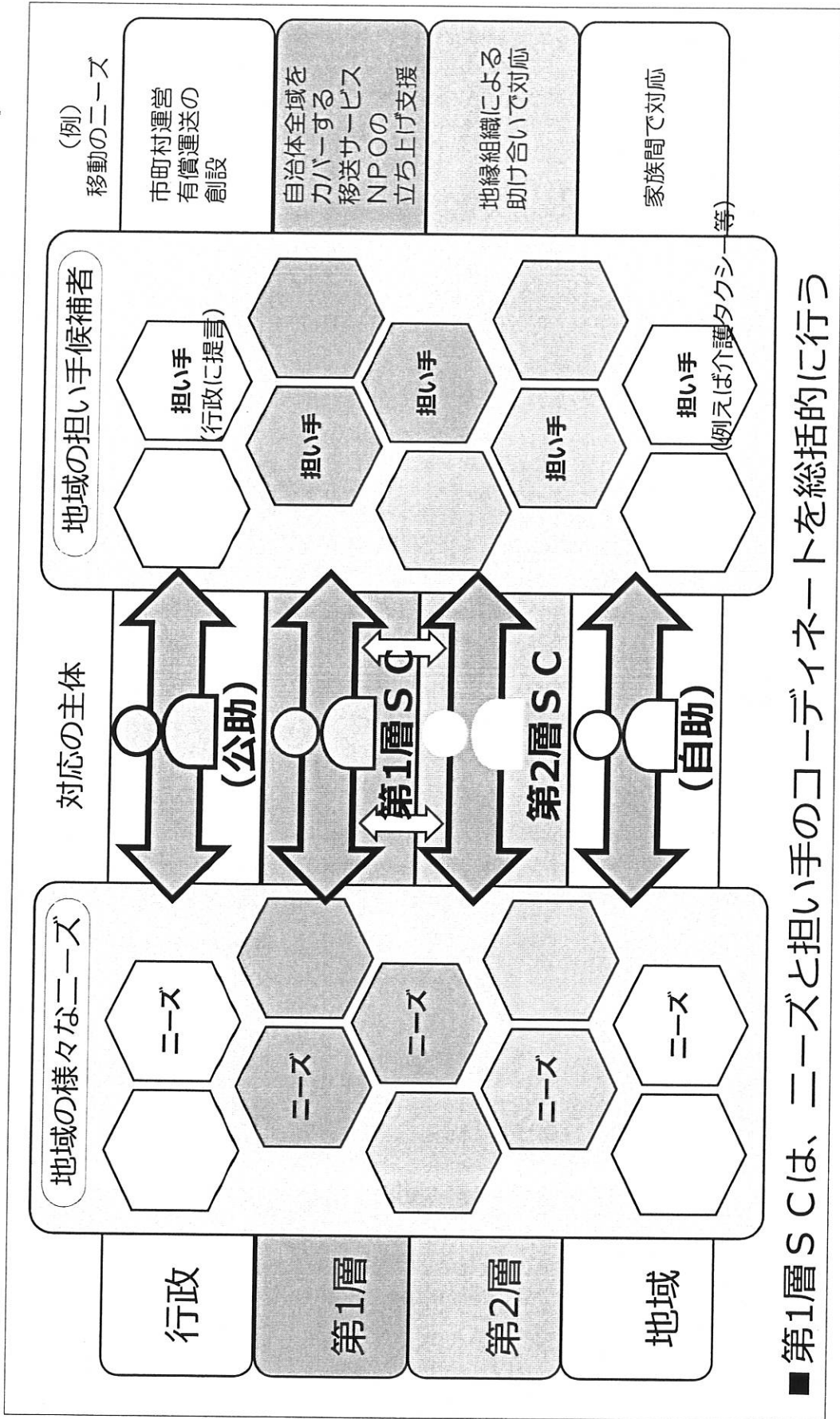
公益財団法人さわやか福祉財団
会長 堀田 力

SC及び協議体の役割

ステップ①：第1・2層協議体の基盤作り

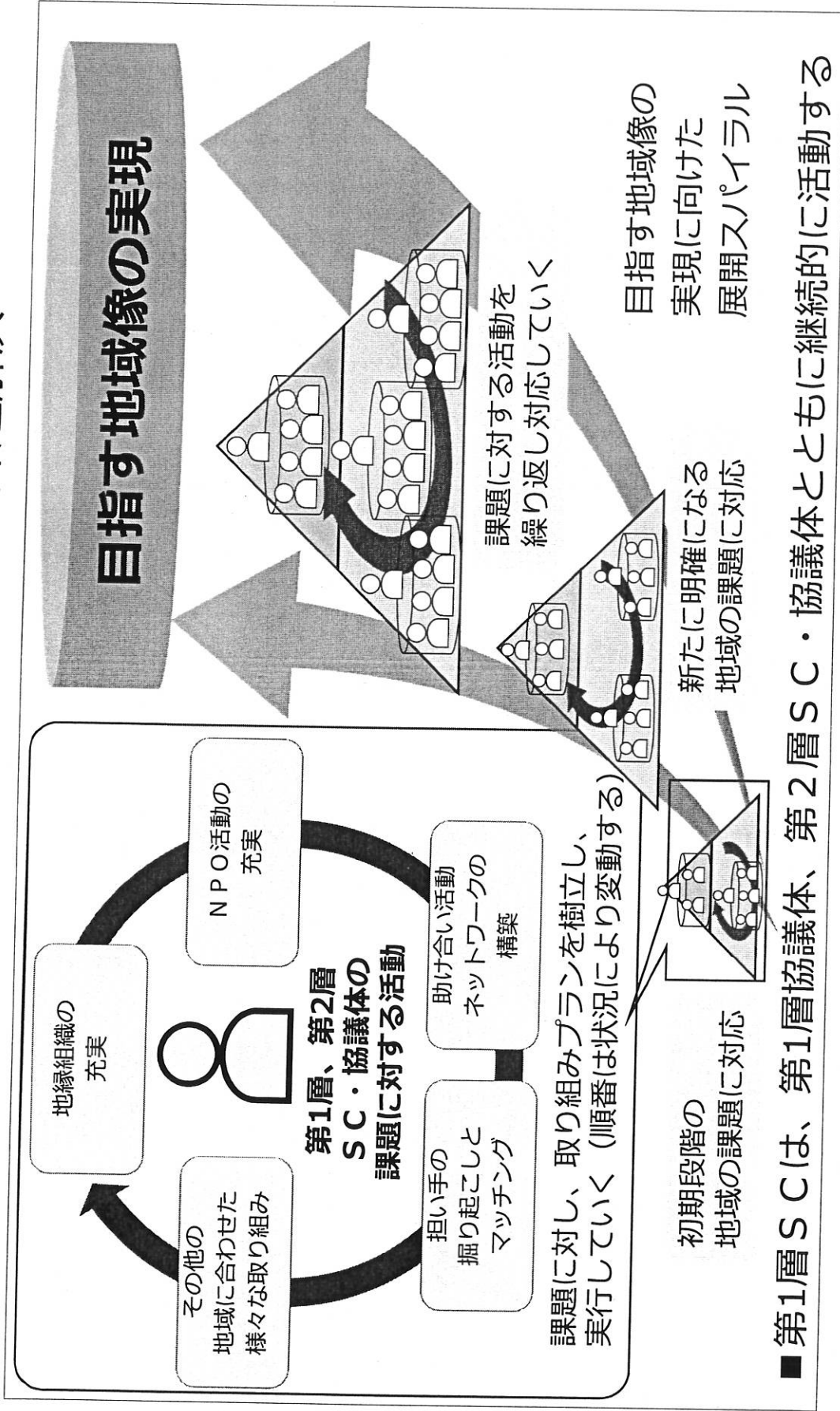


ステップ②：ニーズと担い手の掘り起こし、コーディネート



■第1層SCは、ニーズと担い手のコーディネートを総括的に行う

ステップ ③：SC・協議体による地域の課題解決



パネルディスカッション

「みんなで支え合い活動をひろげよう」

【パネリスト】

- ・ 元気でハッピーながのだ 代表 上拂 辰雄 氏
- ・ 高隈地区コミュニティ協議会
福祉部会 会長 渡邊 正人 氏
- ・ NPO法人 隣の会 会長 齋藤 鈴子 氏
- ・ 鹿屋市第1層生活支援コーディネーター
小田 美桜

【コーディネーター】

- ・ 公益財団法人 さわやか福祉財団
会長 堀田 力

元気でハッピーながのだ

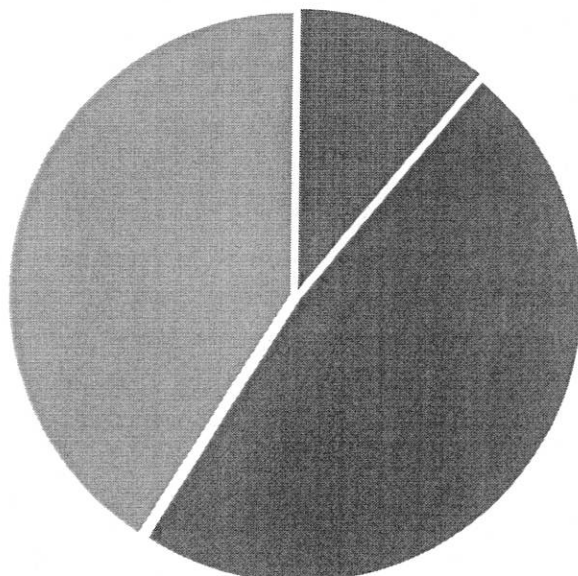
主な活動

- 健康教室(毎月第3火曜日/13:30~)
- サロン会(茶話会/情報交換・共有の場)
- 高齢者を支援する活動
 - 声かけ・見守り・安否確認「独居老人宅」
 - 【支え合いマップを活用】
 - ゴミだし・分別、墓参・掃除代行
- 地域活性化の活動...道路清掃、花園管理

1

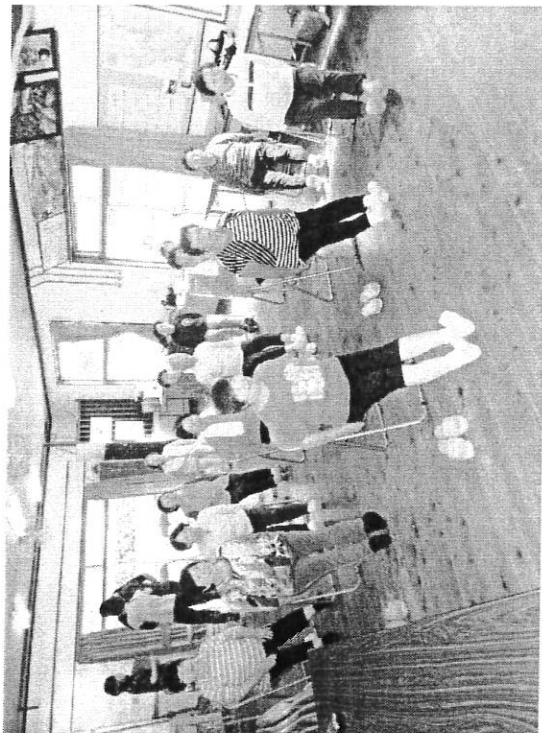
永野田町内人口(28年11月現在、419名)

14歳以下	64歳以下	65歳以上	75歳以上	85歳以上	80以上独居
45名	200名	174名	92名	37名	52(23)名
11%	48%	41%	22%	9%	13%

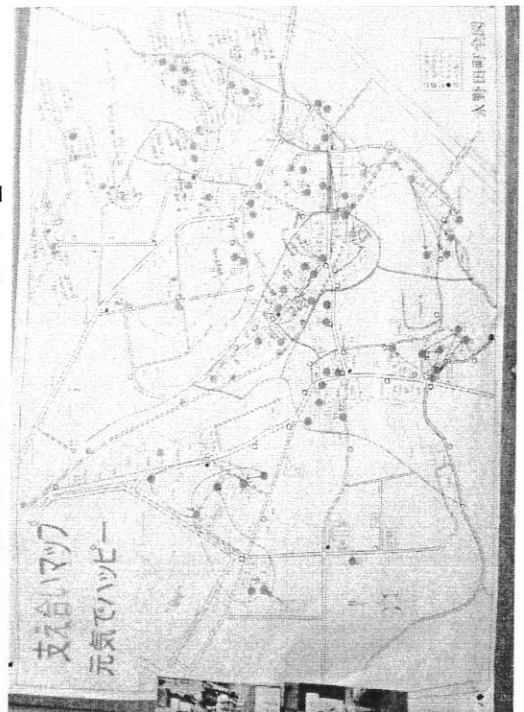


- 14歳以下
- 64歳以下
- 65歳以上
-

健康教室(第3火曜日)



高齢者を支援する活動 【支え合いマップ】

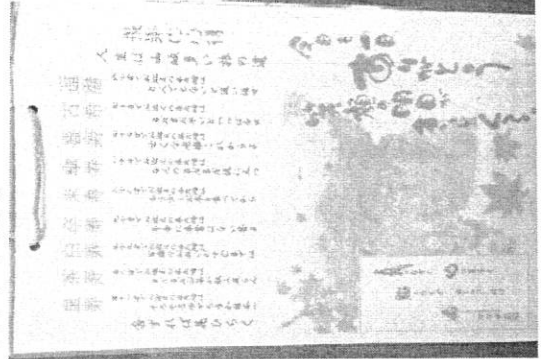


サロン会(クリスマス)

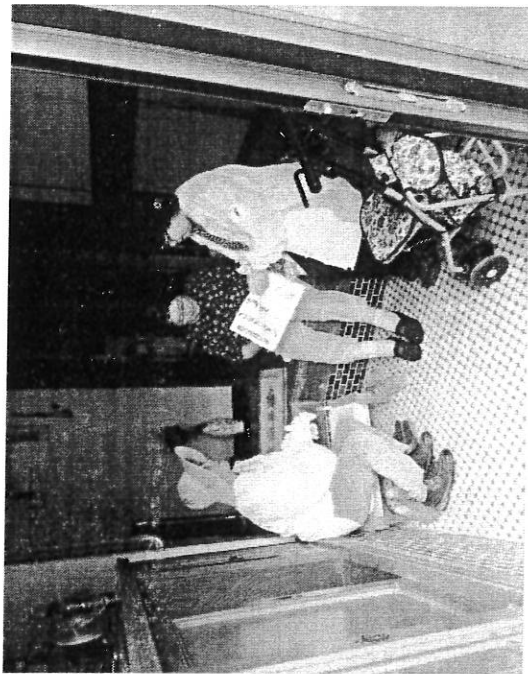


緊急時連絡台帳

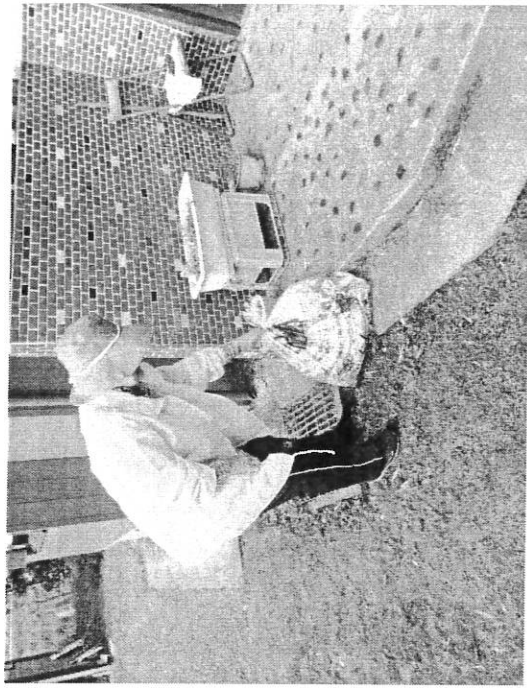
緊急時連絡台帳	
氏名	大野正子
住所	〒43-0478 静岡県大野町 町立大野町 922号
職	専業主婦
火	事故対応(救急車)
連絡先	110
かかりつけ医院	内科 41-3600 大野町立病院 外科 43-4191 大野町立病院
近所	町内会 大野町 43-4934 民生児童委員 大野町 43-4934 大野町立病院 大野町 43-4934 大野町立病院 大野町 43-4934 大野町立病院 大野町 43-4934
緊急連絡先	大野町立病院 大野町 43-4934



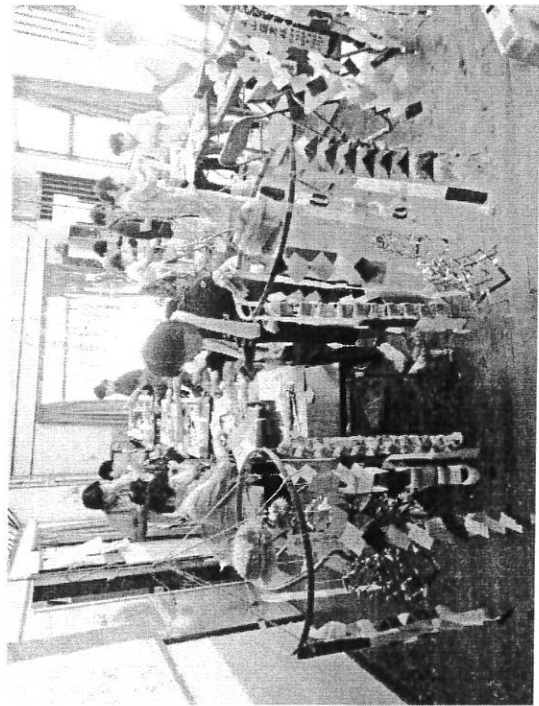
声かけ・見守り・安否確認



ゴミだし手伝い



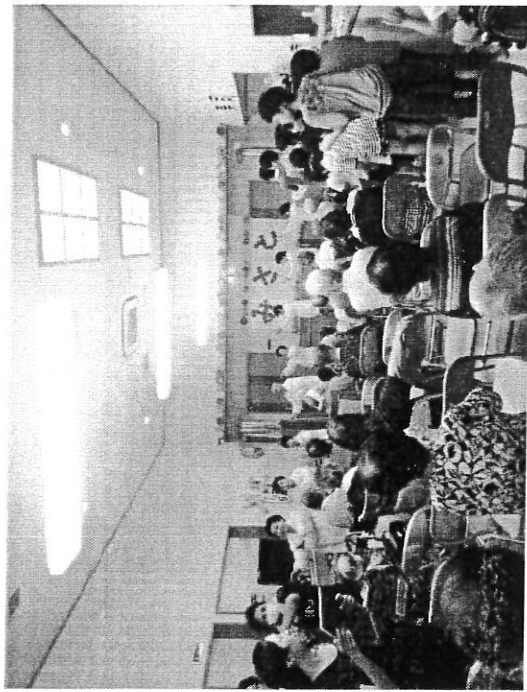
セタつくり(90歳以上独居老人)



セタつくり



敬老の日／老人ホーム慰問

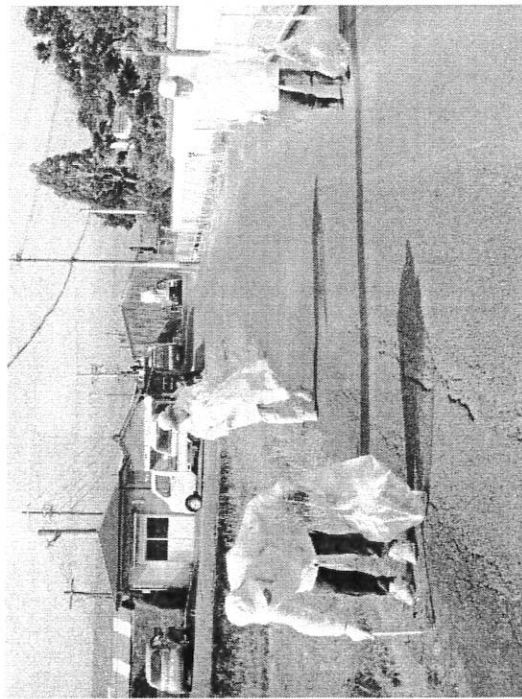


14

敬老の日／老人ホーム慰問



地域活性化の活動(ゴミ拾い)



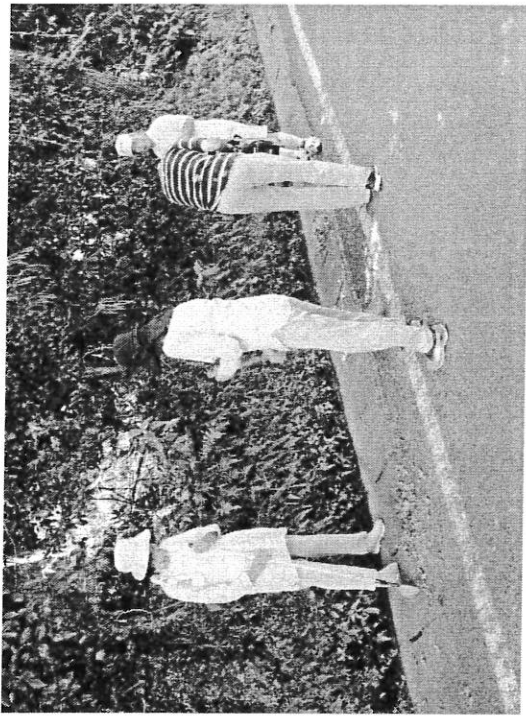
地域活性化の活動(集まりました)



15

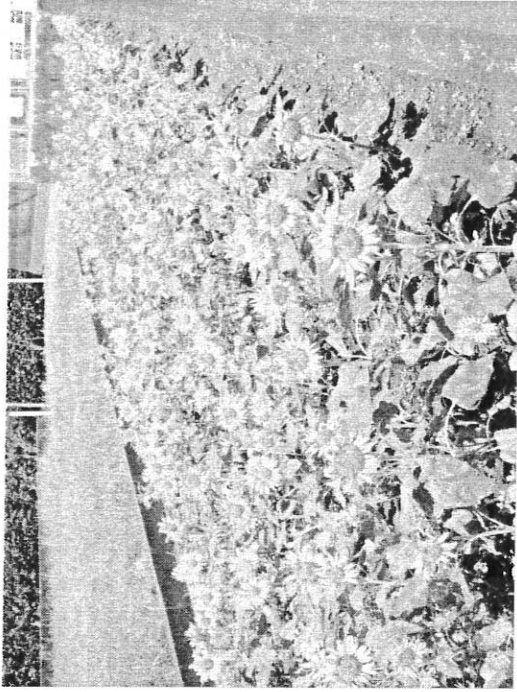
15

地域活性化の活動(道路清掃)



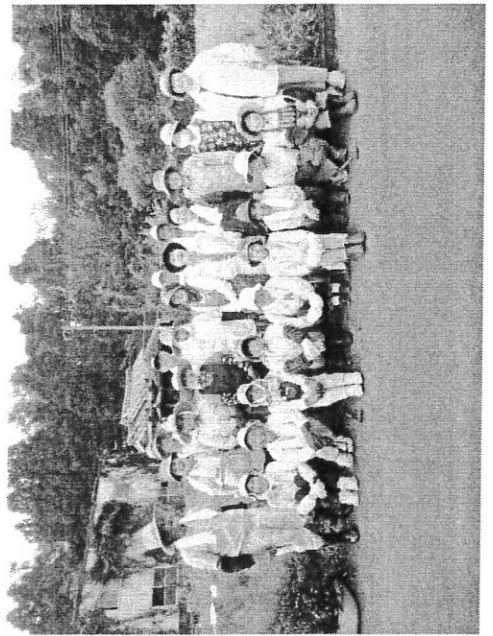
15

地域活性化の活動(ヒマワリ)



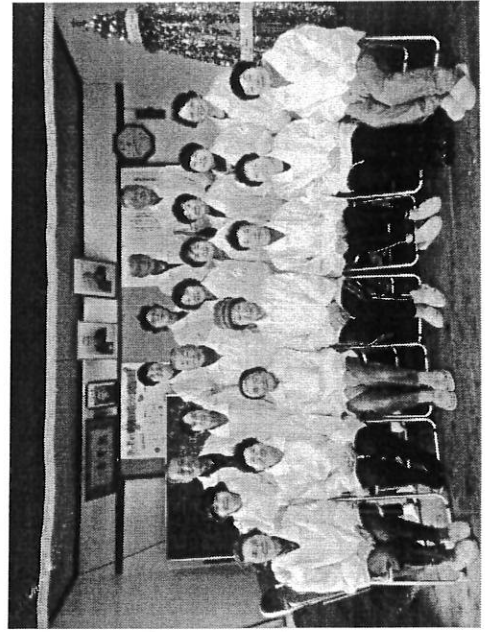
15

地域活性化の活動(長寿会パワー)



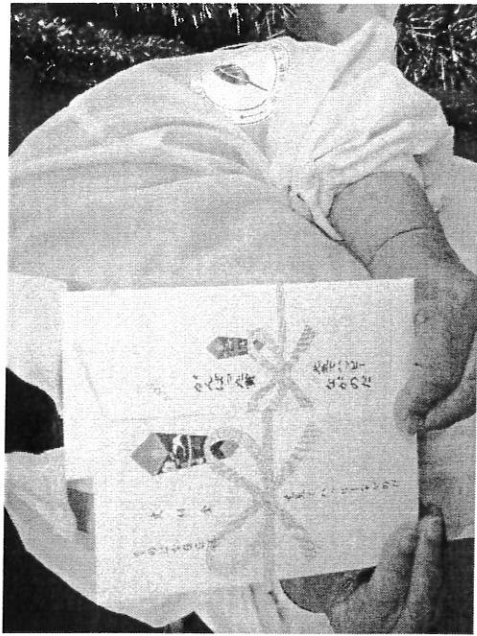
17

元気度UPの活用



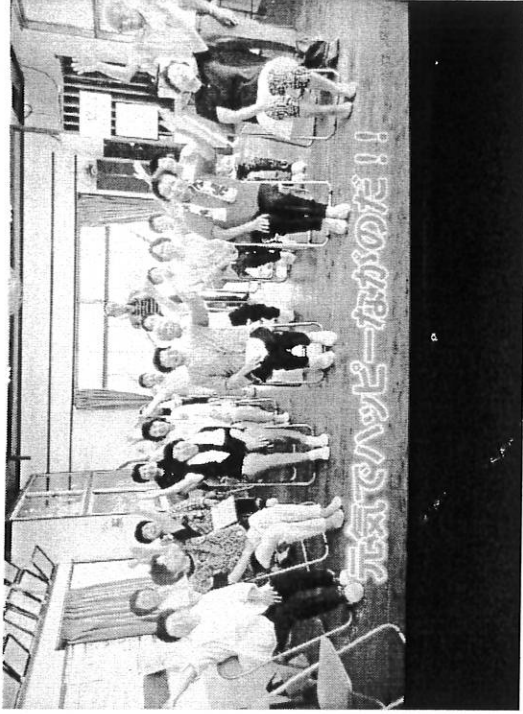
13

元気度UPのおかげ様



15

元気でハッピーながのだ

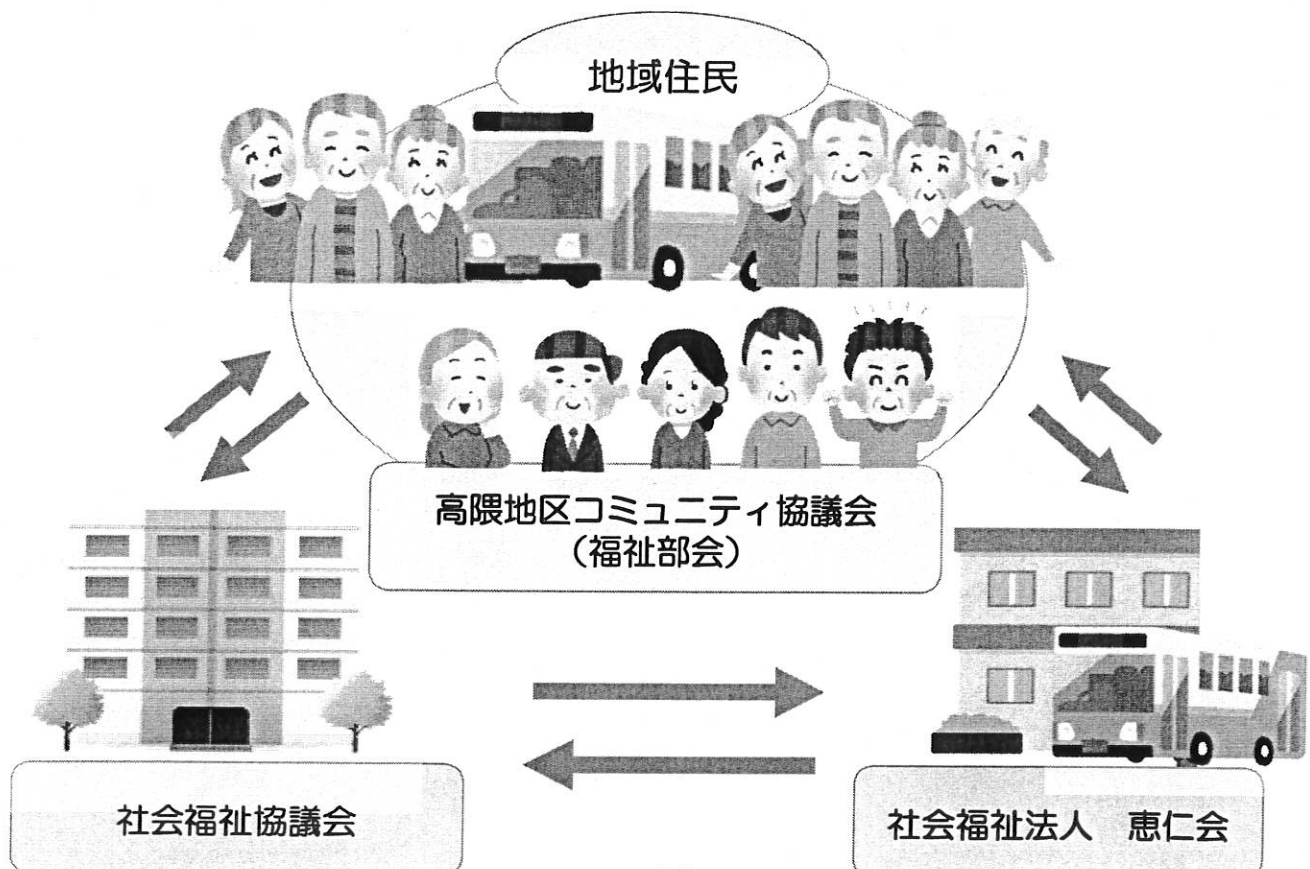


16

高隈地区ドライブサロン

高隈地区コミュニティ協議会
福祉部会 部会長 渡邊 正人

高隈地区ドライブサロン



高隈地区コミュニティ協議会設立準備委員会 との住民アンケート調査の実施

平成27年1月、65歳以上の高隈地区住民758名に対して、アンケート調査を実施。高隈地区は65歳以上の住民の27%が独り暮らし、45%が夫婦のみと70%以上が高齢者のみの世帯。

買い物交通手段	1位	自分で運転の車60.1%
"	2位	家族友人の車 26.2%
"	3位	買い物しない 6.8%

半数以上自分で運転している。中には80歳以上の方も…買い物のために車が手離せない。

生鮮食品を買える店	1位	ない 74.5%
"	2位	ある 23.4%
"	3位	わからない 2.2%

生鮮食品を買えるような店がない！！

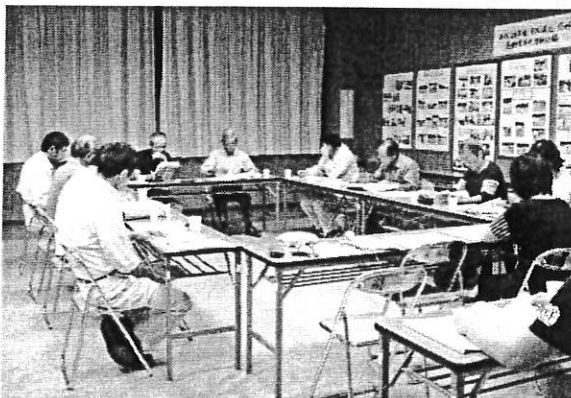
近くにお店がない場合	1位	遠方まで出かける 68.9%
"	2位	人に頼む 24.8%
"	3位	カタログ販売 4.4%

人に頼む等の意見もあったが、やはり自分の目で見たいという気持ちがある。

買い物地域	1位	鹿屋中心地 63.6%
"	2位	高隈地区と鹿屋中心地 22.6%
"	3位	高隈地区 6.1%

ほとんどの方が高隈地区の商店だけではなく鹿屋中心地まで出かけている！！

高隈地区コミュニティ協議会設立 ドライブサロン事業が計画に盛り込まれる



平成27年7月高隈地区コミュニティ協議会が設立。

その中の「福祉部会」の事業計画に買い物支援事業としてドライブサロンが盛り込まれた。

11自治会ある高隈地区において、公共交通機関がなく、商店等もない瀬戸野・柏木・重田の3地区にしぼり活動を進めることが決定した。



地域内の調整は全面的にコミュニティ協議会で行うこととし、地域内の商店との調整
・自治会長及び民生委員への周知・参加者の出欠の集約・活動ルートの確認・活動時のボランティアの確保等を行っている。

社会福祉法人 恵仁会へ協力依頼

かねてよりドライブサロンに理解を示していただいていた恵仁会へ、高隈地区コミュニティ協議会・鹿屋市社会福祉協議会より協力を依頼。

高隈地区での実施を承認いただく。三者で準備調整することとなる。

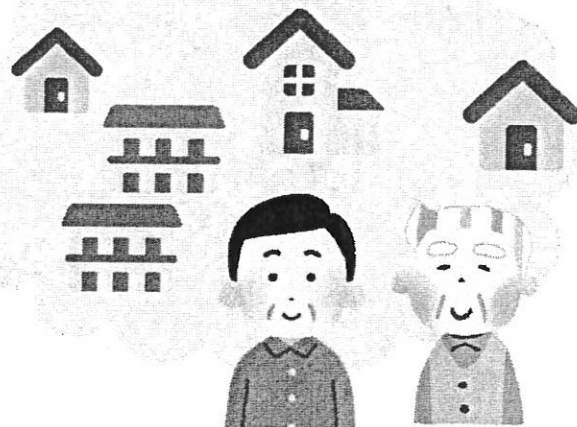


民生委員・自治会長の協力を得て対象者選出

高隈地区コミュニティ協議会より、全自治会へドライブサロンの説明を行い理解を得たうえで、協力を依頼。

また、社協より民生委員の定例会で説明ののち協力を依頼。

各地区対象者のリストを作成してもらった。



地域住民への説明会を実施

対象地区で住民説明会を実施。協力施設である恵仁会も出席していただくことで、地域住民との顔つなぎにもなり安心していただけた。

活動の要望等もこの中であげてもらうことで直接施設と調整ができた。

買い物先や日時、集合場所等地域住民で話し合っ決めてもらう。





高隈地区ドライブサロン

高隈町内会（3自治会のうち瀬戸野・柏木・重田の3地区）

町内会人口：753人
0～14歳：56人 15～65歳：318人
65歳以上：379人 高齢化率：50.33%

- ・路線バスなし
- ・1ルート3サロン（登録者：19名）
- ・毎週水曜日 午後1時から3時まで2時間程度
- ・鹿屋市内大型スーパー送迎

【協法人・団体】

社会福祉法人 恵仁会（特別養護老人ホーム 鹿屋長寿園）
高隈地区コミュニティ協議会
社会福祉法人 鹿屋市社会福祉協議会

【使用車輛】

恵仁会所有の21人乗りマイクロバス（ディーゼル車）

【平成27年度実績（平成27年10月～平成28年3月）】

実施回数 25回
延利用者 289人 1日平均 約12人

【平成28年度実績（平成28年4月～平成28年12月）】

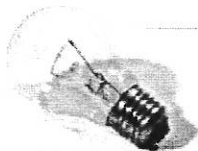
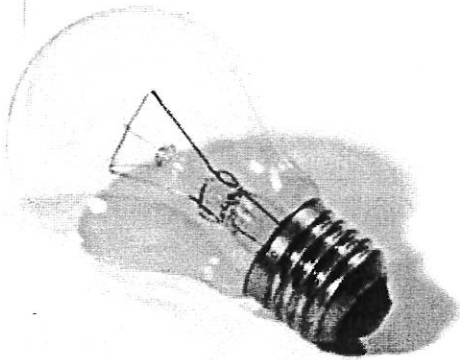
実施回数 37回
延利用者 289人 1日平均 約12人





市民活動として取り組む 生活支援サービスの展開

NPO法人 隣の会 理事長 齋藤鈴子



隣の会助け合いのしくみについて

- ・ たすけあいコーディネーターの役割は、利用会員と協力会員の調整役。
- ・ 助けてほしい(依頼理由)内容を聞き、支援が必要な時はパンフレットにより、登録、謝礼金、チケット制について説明を行う。

※登録会員申込み

利用したい方の名前、依頼理由などを登録申込み書に記入する。(登録料2000円)

※チケット

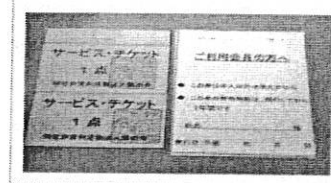
チケットが原則、前払いでチケットを購入して頂く。(1冊8000円)

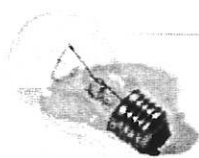
活動終了後に会員がチケットを受け取る。

利用されなかったチケットは精算払いにて返金する。

・活動の内容

家事援助(簡単な調理、部屋の掃除、買い物、ゴミ捨てなど)
外出支援、通院介助、買い物付き添い、薬取り、話し相手、
入院中の洗濯、見守り、





活動の内容(有償ボランティアについて)

平成11年より活動を開始し、利用会員登録申込者が現在まで、約975名。

有償ボランティアスタッフが活動している。

高齢者、障がい者、一般の方が利用されている。

※入院中の方の洗濯、買物支援を行っており、病院のソーシャルワーカーからの紹介で、家族が県外にお住まいの方や、近隣町村に住まいのある方からの依頼がある。

※高齢の方の活動内容として、奥様が入院中、独居の為に話し相手、掃除、調理を行っている。

※障がいの方の活動内容として、施設入所中の方で後見人からの依頼や施設からの依頼で、外出支援(温泉、外食、買物、墓参り等)を月に1~2回、行っている。

※一般の活動内容として、仕事をされているために家事支援(掃除、片づけ)の依頼があり、活動を行っている。

※介護保険の利用で一人暮らしの方など、高齢による目や耳が聞こえにくいことで、日常の暮らしで必要な病院の通院が、ままならない時に介護保険では出来ないサービス、主に通院介助、見守り、又家から遠いために薬取り等依頼に訪問介護員が助け合いを行っている。



ふれあいサロン かわにし

○平成24年4月より町内会はじめ、民生委員の協力を得て、地域サロンとして、活動を始めた。

○参加者は、地域の方が歩いて参加出来る方を対象としている。
毎回の参加者10名~15名程度で、参加者名簿に記入をお願いしている。

○開催日時は、毎月、第4木曜日、午前10時~午後1時半頃まで

○開催の連絡は、毎月、町内会の有線放送でサロンの開催を放送している。

○持参する物として、300円と米1合をお願いしている。



コミュニティースペース



お互いを尊重でき、穏やかに繋がる場所を目的に、地域のコミュニティースペースとして、平成26年1月に「にじいろ喫茶」をOPENいたしました。にじいろ喫茶は、お友達との誕生日会や手芸教室、お菓子づくり教室、会合など地域の皆様に気軽に利用していただいております。

